

平成26年度「学校・地域パートナーシップ事業」取組の概要

市町村名	学校名等
五條市	五條市立北宇智小学校

1 基本コンセプト（取組のねらいや考え方など）

保護者を含めた地域の方々の参画・協働による「地域と共にある学校づくり」を通じて、地域住民が親交を深め、地域の学校である北宇智小学校への関心や愛着心が高まり、地域の教育力が向上することを目指している。

また、児童と地域の方々とのつながりが深まる中で、社会性を身につけ、規範意識が向上すること、さらに、地域への興味や関心が高まり、郷土愛へとつながることを願っている。

2 取組の概要

環境整備支援活動

本校の校舎と運動場の間には大きな段差があり、その斜面は例年草を刈るだけで手一杯であった。



マリーゴールドと写真撮影

学習活動

昨年度、初めて夏の学習会を開催した。保護者にも児童にも好評で、今年度は「夏のがってんタイム」と名付けて日数とスタッフを増やし、それぞれの学年に分かれ、一人ひとりに合わせた学習を進めた。児童は落ち着いた雰囲気の中、わからないところを質問したり、友だちと相談をしたりしながら学習を進めていた。



土手定植準備

運動会の時には、土手をバックに写真を撮ろうと保護者や児童が思うような斜面にしたいというボランティアの方の思いから活動を始めた。ボランティアと保護者、職員と一緒に土手を耕し、腐葉土や肥料を入れるところから始めた。全校児童もボランティアの支援を得ながら、千を超えるポットにマリーゴールドの種を植え、苗を育てた。4年生以上の児童で、ボランティアの支援を得ながら土手に苗を植えた。夏休み中も草引きや水やりを行ったが、夏の暑さに負け、株は期待したほど大きくなかった。しかし、これまでになく色とりどりのマリーゴールドが咲いた土手は大変きれいで、運動会当日もみんなの目を楽しませてくれた。

夏のがってんタイム

